

まえがき

アジア経済研究所では、「東南アジア政治制度の比較分析」研究会と題する共同研究会を2010年度から2012年度にかけて実施している。本書は、その中間報告書である。

当研究会の目的は、東南アジアの5カ国（タイ、インドネシア、フィリピン、マレーシア、シンガポール）において政治制度がいかなる形態をとり、いかに機能しているかを、平易なかたちで示すことである。分析・解説にあたり、比較政治学の分析枠組みを援用し、かつ対象事例間の比較をおこなう。

ASEANの原加盟国である上記5カ国では、今日、代議制統治の諸制度が政治運営（政策策定と政府、体制への支持調達）の基盤を構成している。市民的自由の制限やクーデター、大衆行動による政権転覆といった非民主的な事象も時折発生するが、総じて平時の政治は民主主義の手続きに則って行われているといえる。また組織としてのASEANも、近年、原加盟国の主導のもとにASEAN憲章を採択するなど、民主的組織運営のための制度を導入している。

したがってこれらの国の政治や、これらの国が主導するASEANの制度的発展は、第1に、政治学における新制度論の知見を援用することでよりよく理解できる。第2に、5カ国における政治のあり方を、制度を軸に比較分析することが可能であり、制度とそれを取り巻く環境の共通性や差異が、政策パフォーマンスや体制の安定性にどのような影響を与えているかを明らかにすることができる。これらの作業を通じて、今日の東南アジア政治のあり様を描く。

本報告書では、研究会での議論を踏まえて、先行研究を整理しながら最終成果に盛り込むべき論点の絞りこみをおこなっている。最終成果は、「アジ研選書」シリーズのなかの一冊として2012年度に出版される見込みである。

2011年3月

編者

目次

序章	分析と統合の地域研究にむけて 中村 正志（地域研究センター）・・・・・・・・・・	1
第 1 章	政治体制の理論と東南アジアの事例 中村 正志（地域研究センター）・・・・・・・・・・	9
第 2 章	東南アジアの選挙と政党 川中 豪（地域研究センター）・・・・・・・・・・	23
第 3 章	東南アジアの執政制度と司法制度 川村 晃一（地域研究センター）・・・・・・・・・・	50
第 4 章	東南アジアにおける社会運動の比較分析試論 重富 真一（地域研究センター）・・・・・・・・・・	74
第 5 章	地域機構としての ASEAN の役割 鈴木 早苗（新領域研究センター）・・・・・・・・・・	92